

社会福祉士実習ステップアップ研修

～実習指導者と実習生が一緒に考えるソーシャルワーク実践と実習～

相談援助実習では、実習指導者、実習生、実習担当教員の三者の連携・協働が不可欠です。事前打ち合わせや巡回指導で顔を合わせて話しあっているものの、いざ実習が始まるとさまざまな事態が生じます。実習指導者にも、実習生にも、それぞれの“想い”や“考え”がありますが、果たしてうまく共有できているのでしょうか。

今回の研修は、実習指導者と実習生が協働し、実習期間中に、実習を円滑に・効果的に進める方法を模索するという新しい取り組みです。実習指導者と実習生が一緒に参加して頂きやすい開催日としました。実習指導者も実習生も、気になっているものの面と向かっては話にくいことをグループワークで共有しませんか。そして課題と課題への対応を見つけ、明日からの実習に役立てて下さい！ぜひ養成校教員もご参加ください。もちろん、本年度は実習生を受け入れていない実習指導者の参加も大歓迎です。



日 時 2017年8月28日(月) 10時～16時

会 場 きらめきプラザ/岡山県総合福祉・ボランティア・NPO会館 4階 401会議室
岡山市北区南方2丁目13-1(岡山駅から徒歩約15分/バス「番町口・跨線橋東」下車3～4分)

プログラム

10時 開会

10時05分～

【グループディスカッションⅠ】 相談援助実習プログラムの困ったあれこれ、工夫あれこれ

実習指導者、実習生がそれぞれグループに分かれて実習プログラムについて意見交換し、困っていること、戸惑っていること、どのように対応すれば良いかなど、お互いの工夫などについても情報を共有して頂きます。

11時30分～12時30分

【講義Ⅰ】 相談援助実習プログラミングを活用してソーシャルワークを伝える

実習プログラムに盛り込むべき事項を再確認し、実習現場でどのように指導を進めソーシャルワークを伝えるのかをロールプレイを交えて確認します。

12時30分～13時30分 休憩

13時30分～

【グループディスカッションⅡ】 実習スーパービジョンの「困った」と「びっくり」と工夫あれこれ

実習中に生じた場面や実習日誌(実習ノート)を用いた実習生への指導について意見交換し、スーパービジョンとは何か、スーパービジョンにおける実習指導者及び実習生の役割や機能を確認します。

14時55分～15時55分

【講義Ⅱ】 実習スーパービジョンを効果的に進めるために

具体的場면을例に挙げながら、実習スーパービジョンの進め方についてロールプレイを交えて確認します。

■主催: 一般社団法人岡山県社会福祉士会

※ファシリテーター及び講師は、岡山県社会福祉士会実習委員会のメンバーが担当します。

■後援: 社会福祉法人岡山県社会福祉協議会(予定)、一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟中国四国ブロック

■対象: 実習指導者および実習生/養成校実習担当教員/その他関係者

※県内・外/会員・非会員は問いません。

■定員: 50名

■参加費: 社会福祉士会の会員 1,000円 非会員 3,000円(当日受付にてお支払いください) 実習生は無料

■参加申込: 8月17日(木)までに、下記申込用紙にて郵送・FAXで申し込むか、下記申込事項をメールに記載して送信してください(照会は極力メールでお願いします)。なお、受講券等は送付いたしません。研修1週間前までに本会より連絡が無い場合は受講可ですので、当日会場にお越しください(定員を大幅に超過した場合のみ受講調整&連絡をします)。

住所 〒700-0807 岡山県岡山市北区南方2丁目13-1 きらめきプラザ内 岡山県社会福祉士会
TEL:086-201-5253 FAX:086-201-5340 E-mail: office@csw-okayama.org

■その他:①実習プログラムをご持参ください。

②実習ノートおよび実習日誌(控えやコピー)をお持ちの方は、個人情報保護に留意の上ご持参ください。

③実習指導者の方は『社会福祉士実習指導テキスト第2版』(中央法規出版2014年)および『社会福祉士実習指導者サブテキスト:相談援助実習プログラムの考え方と作り方』(中央法規出版2015年)をご持参ください。

